

今年度やったこと

S ターム

thinkstats2

課題 1 : 包絡線定理のシミュレーション

課題 2 : DA (受入保留) algorithm

課題 3 : 課題 2 で書いたコードに多対一マッチングを追加

課題 4 : KMR の確率進化モデルのシミュレーション

夏合宿 : "Imperfect Public Monitoring with Costly Punishment: An Experimental Study" の説明

A ターム : o-Tree を使って、夏合宿で取り上げた論文の再現、分析

問題設定

背景 : 全国的な人口減少、GDP の伸び悩みがあります。おそらく、長引いた不景気は地域社会からの人口流出、少子高齢化を招いています。地域経済を活性化させるのは何かということを調べたいと考えています。

何をどこまでどうやって明らかにしたのか

先行研究

①「生産人口の変動による地域経済成長への影響 -1980~2010 年の日本都道府県パネルデータに基づく分析-」 公益財団法人国際東アジア研究センター 戴 二彪、2014 年 3 月 (<http://www.agi.or.jp/workingpapers/WP2014-07.pdf>)

生産年齢人口と域内総生産伸び率は正の関係を持つことを最重要視

②「高齢化、地域間所得格差と産業構造 : R-JIP データベースおよび R-LTES データベースを用いた実証分析」 経済産業研究所、深尾 京司、2015 年 2 月、(<http://www.rieti.go.jp/jp/publications/rd/100.html>)

高齢化県では労働生産性と TFP が低いことが分かった。

③「地方からの人口流出の経済的要因と構造 -地域経済学の視点による県民経済計算の分析と考察-」、岩手県調査統計課調査分析担当、平成 27 年 9 月 1 日

([file:///C:/Users/Taiki/Downloads/%E2%84%9627-2%20%E5%9C%B0%E6%96%B9%E3%81%8B%E3%82%89%E3%81%AE%E4%BA%BA%E5%8F%A3%E6%B5%81%E5%87%BA%E3%81%AE%E7%B5%8C%E6%B8%88%E7%9A%84%E8%A6%81%E5%9B%A0%E3%81%A8%E5%9B%BD%EF%BD%A2%EF%BC%8D%E5%9C%B0%E5%9F%9F%E7%B5%8C%E6%B8%88%E5%AD%A6%E3%81%AE%E8%A6%96%E7%82%B9%E3%81%AB%E3%82%88%E3%82%8B%E7%9C%8C%E6%B0%91%E7%B5%8C%E6%B8%88%E8%A8%88%E7%AE%97%E3%81%AE%E5%88%86%E6%9E%90%E3%81%A8%E8%80%83%E5%AF%9F%EF%BC%8D01%20\(1\).pdf](file:///C:/Users/Taiki/Downloads/%E2%84%9627-2%20%E5%9C%B0%E6%96%B9%E3%81%8B%E3%82%89%E3%81%AE%E4%BA%BA%E5%8F%A3%E6%B5%81%E5%87%BA%E3%81%AE%E7%B5%8C%E6%B8%88%E7%9A%84%E8%A6%81%E5%9B%A0%E3%81%A8%E5%9B%BD%EF%BD%A2%EF%BC%8D%E5%9C%B0%E5%9F%9F%E7%B5%8C%E6%B8%88%E5%AD%A6%E3%81%AE%E8%A6%96%E7%82%B9%E3%81%AB%E3%82%88%E3%82%8B%E7%9C%8C%E6%B0%91%E7%B5%8C%E6%B8%88%E8%A8%88%E7%AE%97%E3%81%AE%E5%88%86%E6%9E%90%E3%81%A8%E8%80%83%E5%AF%9F%EF%BC%8D01%20(1).pdf))

地域経済学による人口減少の要因を掘り下げ、県民経済計算等を用いた実証分析

④「大学教育と生産性 -高学歴化に向けて-」 安本他、

([http://www.kwansei.ac.jp/s\\_economics/attached/0000039622.pdf](http://www.kwansei.ac.jp/s_economics/attached/0000039622.pdf))

大学卒業者が日本経済にとってプラスなのかという問題意識、人的資本を含んだ生産関数の推計、コブ＝ダグラス型

⑤ 「経済力の源泉としての大学の教育・研究」 徳永保他、  
([https://www.nier.go.jp/koutou/seika/rpt\\_02/pdf/rpt\\_02.pdf](https://www.nier.go.jp/koutou/seika/rpt_02/pdf/rpt_02.pdf))

⑥ 「経済成長における高等教育のシグナル機能と政府教育支出の役割」 外谷 秀樹、一橋大学、([http://www.icer.or.jp/academic\\_journal/ier/PDF/29-8.pdf](http://www.icer.or.jp/academic_journal/ier/PDF/29-8.pdf))

⑦ 「地域金融と経済成長の相関性について」 石川 大輔、福島大学大学院、  
([http://www.lightstone.co.jp/evIEWS/files/evcontest2010\\_4.pdf](http://www.lightstone.co.jp/evIEWS/files/evcontest2010_4.pdf))

⑧ 「地域経済における産業集積効果の実証分析－中国地域を対象として－」 大塚 章弘他、地域経済研究第 22 号、(<http://www.cres.senda.hiroshima-u.ac.jp/22-02.pdf>)

⑨ 「未来へつなげる公共投資 1) ～都道府県別生産力効果の実証分析～」 関西大学 前川聡子 研究会、政策フォーラム、2006 年 12 月  
([http://www.isfj.net/ronbun\\_backup/2006/zaisei/maekawa.pdf](http://www.isfj.net/ronbun_backup/2006/zaisei/maekawa.pdf))

⑩ 「協力行動と公共財ゲームに関する一考察： 経済学実験および心理学実験を中心に」 後藤 晶、  
([http://ci.nii.ac.jp/els/110009863961.pdf?id=ART0010382554&type=pdf&lang=jp&host=cinii&order\\_no=&ppv\\_type=0&lang\\_sw=&no=1453726056&cp=](http://ci.nii.ac.jp/els/110009863961.pdf?id=ART0010382554&type=pdf&lang=jp&host=cinii&order_no=&ppv_type=0&lang_sw=&no=1453726056&cp=))

#### 残された課題

人口流出と低成長は現在活発に議論されている題目であると思います。このテーマに関しては新規性が問題になると思います。新しい説明変数を発見できれば素晴らしい結果が得られると思いますが、学部レベルでは海外の論文のモデルを日本に適用するだけになることも多いと伺っています。私が今注目しているのは、高等教育です。今の問題は、国勢調査では大卒と大学院卒を区別していないことだと考えています。最後に、政府について学習を深めるうちに、3年次にやってみた公共財供給や、先行研究⑩のように、制度設計についても分析を進めるかと思っています。